

麦類作柄解析試験（平成29年産）

平成29年8月24日
農業総合センター

1 生育ステージ

地域	品種名	年次	播種期	出芽期	苗立本数	幼穂形成始期	節間伸長開始期	出穂期	成熟期
			(月日)	(月日)	(本/m ²)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)
郡山 (農業総合センター本部)	ふくあかり	本年	10/20	10/28	170	1/27	3/16	4/29	6/14
		前年	10/20	10/31	178	1/22	3/9	4/20	6/10
		平年	10/19	10/26	189	1/27	3/20	4/25	6/9
		平年差比	1日	1日	90%	0日	-4日	4日	5日
	きぬあずま	本年	10/20	10/28	180	1/19	3/18	5/2	6/16
		前年	10/20	10/29	178	1/19	3/6	4/19	6/11
平年		10/19	10/27	192	1/26	3/20	4/28	6/12	
	平年差比	1日	1日	94%	-7日	-2日	4日	4日	
会津坂下 (会津地域研究所)	ゆきちから	本年	10/4	10/10	155	3/25	4/12	5/13	6/19
		前年	10/5	10/12	180	3/2	3/25	5/3	6/8
		平年	10/4	10/10	181	3/25	4/12	5/11	6/17
		平年差比	0日	0日	86%	0日	0日	2日	2日
相馬(浜地域研究所)	きぬあずま	本年	10/25	11/4	197	1/23	3/12	4/27	6/16
		前年	10/26	11/6	176	1/25	3/7	4/23	6/11
		平年	10/26	11/4	184	2/13	3/22	4/30	6/16
		平年差比	0日	0日	107%	-21日	-10日	-3日	0日

郡山：出穂期は平年より4日遅れた。成熟期は平年より4～5日遅れた。
会津坂下：出穂期は平年より2日遅れた。成熟期も平年より2日遅れた。
相馬：出穂期は平年より3日早まった。成熟期は平年並であった。

2 成熟期の生育と収量

地域	品種名	年次	稈長	穂長	有効穂数	稈実粒数		容積重	千粒重	上麦重	検査等級	倒伏
			(cm)	(cm)	(本/m ²)	(粒/穂)	(百粒/m ²)	(g/l)	(g)	(kg/a)	(1-7)	(0-5)
郡山 (農業総合センター本部)	ふくあかり	本年	86.1	8.2	746	34.2	255	807	36.0	90.8	4	0.3
		前年	92.4	8.4	636	35.7	227	763	37.0	83.3	7	1.3
		平年	78.9	7.5	570	33.2	188	783	36.7	66.3	5	0.3
		平年差比	109%	109%	131%	103%	136%	103%	98%	137%	-1	0.0
	きぬあずま	本年	89.5	9.2	773	30.7	237	817	39.0	92.1	3	0.2
		前年	96.4	8.6	703	32.7	229	790	40.4	92.6	6	1.6
平年		81.1	8.1	625	32.4	203	793	38.4	76.5	4	0.4	
	平年差比	110%	114%	124%	95%	117%	103%	102%	120%	-1	-0.2	
会津坂下 (会津地域研究所)	ゆきちから	本年	89.3	8.9	533	24.0	128	816	37.6	48.0	2	0.0
		前年	93.8	9.2	498	20.0	100	821	30.4	29.7	6	0.0
		平年	85.7	8.7	418	23.0	96	822	36.6	33.1	4	0.0
		平年差比	104%	102%	128%	104%	133%	99%	103%	145%	-2	0.0
相馬(浜地域研究所)	きぬあずま	本年	93.9	8.5	808	30.4	246	848	37.4	84.8	5	0.0
		前年	97.4	8.2	564	36.0	203	604	38.7	78.5	5	0.1
		平年	88.8	8.6	602	35.5	214	-	37.5	77.1	4	0.5
		平年差比	106%	99%	134%	86%	115%	-	100%	110%	1	-0.5

※平年値は過去5ヵ年の数値を使用。上麦重は縦目篩で小麦2.0mm以上の粒の重量。
※検査等級はJA福島さくら農産物検査機関による7段階評価（1～6：1上～2下、7：規格外）。

郡山：穂数増により稈実粒数の増加と千粒重もほぼ平年並となったため多収であった。検査等級も平年に優った。
会津坂下：穂数増による稈実粒数の増加と千粒重も平年にやや優ったことにより多収。検査等級も平年に優った。
相馬：穂数の増加で稈実粒数が優り、千粒重も平年並であった。検査等級は未熟粒がやや多く平年に劣った。